

委員会調査報告書

子どもセンター等運営事業先進地事務調査について

平成22年10月14日から10月15日までの2日間に当委員会が実施した標記に関する調査結果を次のとおり会議規則第77条の規定により報告する。

平成22年12月22日

芽室町議会厚生常任委員会
委員長 岩間裕信

芽室町議会議長 高橋源様

1 調査訪問先及び調査項目

訪問月日	訪問先	調査項目
10月14日	新得町 子どもセンター なかよし	◎施設建設に至った経緯について ◎運営状況について ◎施設の管理について ◎現状における課題について ◎今後の運営方針について ◎施設見学
10月15日	千歳市 千歳市子育て総合支援センター「ちとせっこセンター」	◎施設建設に至った経緯について ◎運営状況について ◎施設の管理について ◎現状における課題について ◎今後の運営方針について ◎施設見学
	千歳市 ほくよう児童館	◎施設見学

2 調査の方法等

(1) 調査等の時間

新得町：子どもセンターなかよし

午後1時15分から午後3時00分までの1時間45分

千歳市：千歳市子育て総合支援センター「ちとせっこセンター」

午前9時30分から午前11時00分までの1時間30分

千歳市：ほくよう児童館

午前11時10分から午後0時00分までの50分

(2) 調査方法

今回の調査は、前記の調査項目を事前に訪問先に提示し、訪問当日には関係資料の配布・概要説明を受け、その後、質疑応答を行った。

なお、質疑応答終了後に、施設内の見学を実施したものである。

3 訪問先の概要

(1) 新得町

十勝管内の西部に位置し、人口6,685人、面積1,063.79平方キロメートルで、面積の約90%が森林地帯で、そのうち836.90平方キロメートルが国有林、さらにその3分の2が大雪山国立公園に指定されている自然豊かで広大な町である。

町の基幹産業は大自然の恵みを生かした農業で、そばの栽培が多いことや女性専用の農業研修施設「レディースファームスクール」があることで有名な町である。

大正4年に人舞ほか1か村より分村し屈足村と称し、大正12年に新得村と改称、以後、昭和8年に町制を施行し現在に至っている。

(2) 千歳市

石狩管内南端に位置し、人口92,785人、面積594.95平方キロメートルで、市の西部にある支笏湖は周囲40km、最大深度360mを越すカルデラ湖で、透明度が高く日本最北の不凍湖として全国に知られている。

市内にある新千歳空港は、平成21年度実績で国内線28路線、国際線9路線で、国内線・国際線合わせて約1,654万人の利用客があったほか、鉄道3線、道央自動車道、道東自動車道、国道6路線、道道12路線などを配し、一大交通拠点となっている。

また、市内に3つの自衛隊基地があり、自衛隊員とその家族は人口の3割を占めており、平成17年国勢調査において、「北海道で一番若い市町村（平均年齢39.4歳）」となっている。

4 調査結果の概要

(1) 新得町

◎ 施設の概要

- ・ 施設の名称 子どもセンターなかよし
- ・ 所在地 上川郡新得町1条南2丁目14番地
- ・ 事業開始 平成22年1月18日
- ・ 建物構造 木造平屋建
- ・ 建物の面積 床面積 731.75㎡
- ・ 実施事業 児童館、放課後児童クラブ、子育て支援センター

◎ 施設建設に至った経緯について

- ・ 施設をめぐる諸問題

旧なかよし児童館は建設後32年が経過し、老朽化が進んでいた。

また、働く母親の増加により、放課後児童クラブの利用希望が増加し、施

設が狭隘となった。

- ・ 子どもをめぐる諸問題

出生率の低下や核家族化、家庭の育児力の低下、地域のつながりの希薄化、共働きの一般化、情報過多、心の居場所不足等を要因とした、いじめや自殺、不登校や乏しい表現力、未自立や元気がない、我慢が出来なかつたり友達との遊びが苦手、トラブルをよく起こす、体力がなかつたり自分で考えず努力しない、生活習慣の乱れ、軽度発達障害の子供の増加等の諸問題が顕著となった。

- ・ 上記の対応策として

子育て情報の提供や身近な相談者、身近な遊びの場、仲間づくり、身近な集いの場が必要という結論に至り、児童館、放課後児童クラブ、地域子育て支援センターの複合施設として建設に至ったものである。

◎ 運営状況について

- ・ 施設のコンセプト

世代間交流を通した中で生きる力を育てる



自分で考える力を育てる



家庭の教育力を育てる



子どもをもっと元気に

- ・ 施設開設以降の施設の各機能の利用状況

	2月	3月	4月	5月	6月	7月
開館日数	23	26	26	23	26	26
児童館利用者数	1,510	1,249	434	241	333	317
1日平均利用者数	65.7	48.0	16.7	10.5	12.8	12.2
放課後児童クラブ利用者数	817	845	868	796	935	858
1日平均利用者数	35.5	32.5	33.4	34.6	36.0	33.0
子育て支援センター利用者数	598	655	506	694	650	772
1日平均利用者数	26.0	25.2	19.5	30.2	25.0	29.6
施設全体利用者数	2,925	2,749	1,808	1,731	1,918	1,947
施設全体1日平均利用者数	127.2	105.7	69.5	75.3	73.8	74.9

◎ 施設の管理について

- ・ 職員数 児童館・放課後児童クラブ：4人
子育て支援センター：2人
発達支援：2人
その他（代替）：2人
合計 10人

◎ 現状における課題について

- ・ 児童館と放課後児童クラブにおける軽度発達障害児の居場所と対応
- ・ 家庭との連携
- ・ 児童の登下校の確認

◎ 今後の運営方針について

- ・ 関係機関、民間団体などと連携しながら、世代間交流事業を通して子ども達の健全育成を目指す
- ・ 地域の子育て力、家庭の教育力の向上を目指す

(2) 千歳市

◎ 施設の概要

- ・ 施設の名称 千歳市子育て総合支援センター「ちとせっこセンター」
- ・ 所在地 千歳市花園4丁目3番1号
- ・ 事業開始 平成20年4月1日
- ・ 建物構造 鉄筋コンクリート造2階建て
- ・ 建物の面積 床面積 2,201.60㎡
- ・ 実施事業 児童館、放課後児童クラブ、認可保育所(定員120人)、地域子育て支援センター、つどいの広場(市民協働事業)

◎ 施設建設に至った経緯について

- ・ 認可保育所、児童館・放課後児童クラブ、地域子育て支援センターなど様々な機能を有する地域の子育て拠点の整備が必要となった
- ・ 各施設が役割を果たし連携を図ることにより、地域の子育て支援の推進を図る必要があった
- ・ 子育て支援に関する様々な情報を一元的に把握し提供する必要があった

◎ 運営状況について

・ 平成21年度児童館・放課後児童クラブの利用状況

	新規登録人数 (人)		利用人数 (人)	親子組数 (組)	再利用者 組数 (組)	1日平均 利用人数 (人)
	大人 (世帯数)	子ども				
4月	106	138	2,279	1,034	928	91
5月	30	47	1,898	875	845	82
6月	53	65	2,209	1,061	1,008	85
7月	75	104	2,489	1,096	1,021	96
8月	61	75	2,243	998	937	86
9月	39	45	2,295	1,015	976	100
10月	41	50	2,162	980	939	83
11月	29	37	2,149	943	914	93
12月	20	27	2,235	999	979	89
1月	62	80	2,216	987	925	106
2月	51	61	2,720	1,225	1,174	118
3月	67	84	3,048	1,353	1,286	119
合計	634	813	27,943	12,566	11,932	96

・ 地域別登録状況 (平成20年4月1日～平成22年3月31日)

市町村名	登録者数 (人)
千歳市	2,009
恵庭市	31
札幌市	12
苫小牧市	14
その他	43
合計	2,109

その他の市町村 (道内) : 江別市、安平町、長沼町、日高町、むかわ町、留萌市、幌加内町、滝川市、夕張市、江差町、小樽市

(道外) : 青森県、埼玉県、東京都、神奈川県、千葉県、愛知県、大阪府、広島県、宮崎県、鹿児島県など

・ 平成21年度子育て相談件数と内容内訳

<相談方法>

<相談内容>

	電話 相談	来館 相談	メール 相談	合計	基本的 生活 習慣	発達 相談	医学的 問題	育児 環境	育児 方法	そ の 他
4月	2	31	0	33	15	1	10	0	5	2
5月	2	35	0	37	11	2	7	1	5	11
6月	4	42	0	46	18	3	11	5	4	5
7月	1	42	1	44	12	9	11	3	6	4
8月	1	28	0	29	7	4	8	0	5	5
9月	1	43	0	44	10	7	16	0	7	3
10月	2	28	0	30	5	2	13	0	2	8
11月	4	20	0	24	3	5	10	0	3	3
12月	5	26	0	31	6	2	9	0	11	3
1月	2	32	0	34	8	4	12	0	6	4
2月	5	24	0	29	6	2	13	0	7	1
3月	1	31	0	32	11	4	7	0	6	4
合計	30	382	1	413	112	45	127	9	67	53

・ 平成21年度つどいの広場（市民協働）の利用状況

	0～5 か月	6～11 か月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	保護者	合計
4月	65	224	342	184	93	43	28	820	1,799
5月	41	152	236	183	53	14	13	599	1,291
6月	58	241	356	194	89	11	11	845	1,805
7月	48	289	407	265	97	40	20	1,003	2,169
8月	45	206	370	156	82	42	17	773	1,691
9月	53	169	361	141	88	15	6	722	1,555
10月	25	139	343	101	53	15	2	616	1,294
11月	40	138	337	138	80	29	18	671	1,451
12月	32	144	386	140	112	43	11	715	1,583
1月	29	112	505	134	103	44	19	804	1,750
2月	48	145	520	191	109	22	8	916	1,959
3月	72	196	581	269	170	45	34	1,136	2,503
合計	556	2,155	4,744	2,096	1,129	363	187	9,620	20,850

◎ 施設の管理について

- ・ 職員数 認可保育所：32人
子育て支援センター：5人
つどいの広場：8人（市民団体 link～つなぐ～）
児童館：4人
放課後児童クラブ：6人
合計55人
（保育士34人、保健師1人、指導員10人、
事務職員2人（所長、センター長）、市民8人）
- ・ 上記のほか、認可保育所（末広保育所）において施設整備補助員（第2種非常勤職員）3人を雇用し、施設の維持管理を行っている。
- ・ 清掃等については業者委託している。

◎ 現状における課題について

- ・ 支援が必要な保護者等の把握方法
- ・ 男性職員が不在であることによる侵入者・不審者対策

◎ 今後の運営方針について

- ・ 今後も年度末までに次年度の「子育て支援事業運営年間計画」を作成し、保護者や市民に周知し各種事業を運営する

(3) 千歳市

◎施設の概要

- ・ 施設の名称 ほくよう児童館
- ・ 所在地 千歳市勇舞3丁目4番地1
- ・ 開設年度 平成22年度
- ・ 建物構造 鉄筋コンクリート造平屋建て
- ・ 建物の面積 床面積 629.69㎡
- ・ 実施事業 児童館、放課後児童クラブ

5 調査のまとめ

(1) 新得町 子どもセンターなかよし

当施設は、昭和51年に建設された「旧なかよし児童館」の老朽化、狭隘化及び子ども達の遊びの多様化等に対応すべく建設されたもので、道産（足寄町、陸別町）のカラ松材の活用と採光の工夫により、明るくぬくもりのある建物となっている。

また、新エネルギーの活用のための太陽光発電装置や風力発電装置が導入されており、環境教育の面でも非常に役立っていると感じた。

施設の建設費は、2億5,030万円で、そのうち児童厚生施設等整備補助金3,803万円及びその7割が交付税措置される過疎債1億8,680万円を活用し、一般財源はわずか2,547万円となっている。

施設の運営面では、開設前と比べ多くの児童・生徒の利用があり、JR新得駅に隣接した町の中心部に建設されたこともあり、子ども達の新たな居場所や世代間交流の場として活用されている。

しかし、敷地の関係等の事情により、屋外にグラウンドがなく外遊びは一部の遊具を除いて不可能となっている。

さらに、児童館と放課後児童クラブの軽度発達障害児の居場所については、専用の部屋が確保されておらず職員も課題と考えている。

(2) 千歳市 千歳市子育て総合支援センター「ちとせっこセンター」

当施設は、千歳市子育て支援計画が掲げる「地域で支える子育て支援の充実」のための具体的な施策となっており、平成20年4月1日に開設したものである。

また、千歳市子育て支援計画の基本目標「次代を担う子どもたちが健やかに安心して育ち、子どもを持つすべての親が安心して子育てができるよう、保育サービスや市民協働による子育て支援等の充実を図り、地域全体で子育てを応援するまちづくりを総合的に推進する。」のもと、保育所整備による保育サービスの充実、児童館及び放課後児童クラブの整備による児童健全、地域子育て支援センター、子育て支援情報の一元管理による情報機能の充実、拠点施設としてコーディネート機能構築による子育て環境の充実という5つの目的で建設された複合施設となっている。

建物の1階に認可保育所、2階にそれ以外の機能が集約されており、町内に8か所ある児童館の中核施設としての機能も兼ね備えた施設となっている。

施設の建設費は、5億9,945万2,434円で、そのうち児童厚生施設等整備事業費補助金3,553万9,000円及び社会福祉施設整備事業債を4億4,190万円活用し、一般財源は1億2,201万3,434

円となっている。

施設の運営面では、市民団体による「つどいの広場」の利用者が低年齢児を中心に非常に多く、地域による子育て支援が定着しているように思われた。

(3) 千歳市 ほくよう児童館

当施設は、平成22年度に開設した千歳市内で最も新しい施設で、児童館と放課後児童クラブの複合施設で、周辺の宅地開発により増加した児童の利用を見込み新規に建設された施設である。

施設内の放課後児童クラブ「なかよしがくどうクラブ」と「にじいろがくどうクラブ」の2クラブ（各70人）は、運営費補助の関係で2クラブに分かれているが、通路で相互に交流できる構造となっている。

しかし、この施設も屋内での遊びが主体で屋外にグラウンドがない。

(4) 委員会のまとめ

今回調査を行った新得町と千歳市は、人口規模や地域性は大きく異なるものの、行政が子育て支援に対する明確なビジョンを持っており、それが子どもセンター等の建設及び運営並びに管理に表れていたことが印象的であった。

今回の子どもセンター等先進地事務調査から、本町で平成23年度以降に整備を予定している子どもセンターの建設について、解決しなければならない課題が浮かび上がってきた。

特に、児童及び生徒の健全育成と放課後の居場所ということを見ると、次の5点については今後十分に検討を要する項目である。

- ア 利用する子どもたちの増加に対応できる余裕ある施設づくり
- イ 世代間や地域との交流を意識した施設づくり
- ウ 発達障害児の利用に対応可能な運営体制づくり
- エ のびのびと外遊びができる広いグラウンドの確保
- オ 利用料の設定

結びに、子育ては親や地域がおこなうものから確実に変化しており、子育てに対する親と地域の役割、そして行政がどこまで子育て支援に関与すべきなのかを、もう一度議論しなければならないと考える。